

行橋市農業委員会委員に関する推薦および応募の状況(最終公表)

【一般推薦】

No.	推薦を受ける者					推薦をする者				推薦の理由	認定 農業者				
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況	氏名	職業	年齢			性別			
1	藤川 放作	農業 会社役員	65	男	平成2年5月～ 0.3haの水稲作に従事 平成25年4月～現在 地元水利組合事務局長 平成29年3月 福岡エコ農作物認証取得 平成31年3月 福岡県GAP認証取得 令和3年4月～現在 地元自治会長	田 337a 畑 2a	大池 強	農業 会社員	52	男	<p>これまで行橋市の農業を盛り上げようと、有機栽培米の地域創生ブランドを实践。付加価値を付けた6次産業化の達成や平成筑豊鉄道の「ことごと列車」のコース料理にも採用され、観光部門でも行橋市に寄与されています。合鴨有機農法を实践する中、地元の小学校の社会科農業学習に合鴨雛の放飼体験を取り入れる他、これまで培ってこられた農業技術を紹介するゲストティーチャーとして教育現場でも農業学習・食育として伝え、貢献されています。</p> <p>地元自治会長や今川水系十五井堰の内辰下井堰水利組合の事務局長を務められながら、農地の保全、営農の推進、環境保全、地域との連携を深め、農水省の推進する「緑の食糧システム戦略」を早くから実践されています。</p> <p>これにとどまらず、主に子育て世代の母親たちと連携して、医食農福連携として、稲作・畑作の農作業の体験や収穫後の加工(生米パン作り、みそ作り等)まで実践することで、次世代の就農意欲への啓発や、実際に新規就農者を生み、行橋市の農地の耕作放棄地解消、農業発展に貢献されています。最近では行橋市の小中学校に2日分の給食用として、700kgのお米を、新規就農者となった一般市民団体の母親たちと行橋市に寄贈し、ゆくはしシーサイドハーフマラソン大会では、おもてなしのおにぎりに使わせて欲しいと、2年連続で市から寄付を求められています。これらの実績と地域への貢献・信頼は厚く、農業委員に推薦します。</p>	大池 清	農業	72	男
							沖本 信隆	農業	76	男					